

レポート

熱測定応用研究グループの見学交流会 報告

埼玉大学理学部の柴崎先生のご厚意により、応用熱測定グループの見学会が4月3日(金)午後2時から新しい建物の分析センター会議室で催されました。前日の低気圧による荒天とうって変わり暖かい日に恵まれ、また桜の満開の時期とも重なり爽快な日でした。春休み中でキャンパスは静かでしたが、新入生のためのオリエンテーションがそこかしこで行われており、少しにぎやかで若い活気を感じました。

さて、当日の参加者は外部からの参加者が全部で7名[敬称略、市村(セイコーインスツルメント)、上部(都立



産技研)、大久保(都立産技研)、久保川(群馬織1試)、高橋(マックサイエンス)、前園(真空理工)、前田(物質研)]と少人数でしたが、柴崎研究室のスタッフ、外国人大学院生を含めて10数名が集まりました。柴崎先生が最初に研究室の紹介を行い、ライフワークの長鎖ビニル化合物の多形現象および微量の長鎖化合物の末端カルボキシル基の金属へのアンカーリング効果の熱分析的研究に関する興味深い内容で1時間ほどご講演いただいた後、引き続いて埼玉大学が誇る分析センター内の最新のX線装置(4軸X線単結晶構造解析装置、粉末X線回折装置)、熱分析装置(TG-FITR, DSC, TMA)を約1時間ほどかけて見学させていただいた。この分析センターは大学の共同利用機関として位置づけられ、空調されきれいに片づけられた部屋で最新の装置が使い込まれている様子がうかがえ、感心させられました。その後キャンパスを移動してレストラン(大学会館内)へ行き、交流会に移りました。落ち着いた立派な部屋での交流会となり、自己紹介から始まりビールで乾杯しながら6時頃まで談笑し、半日を有意義に過ごすことができました。最後にこの場を借りて柴崎先生に心から謝意を申し上げます。

熱測定応用研究グループ主査 (物質研) 前田洋治

【国際会議のお知らせ】

12th International Congress on Thermal Analysis and Calorimetry

ICTAC: International Confederation
for thermal Analysis and Calorimetry

August 14-18, 2000

Copenhagen, Denmark

General Information:

Conference Chairman
Dr. O. Toft Sørensen
Materials Research Department
Risø National Laboratory
DK-4000 Roskilde, Denmark
Phone: +45 4677 5800
Fax: +45 4677 5758
e-mail: o.toft.sorensen@risoe.dk